

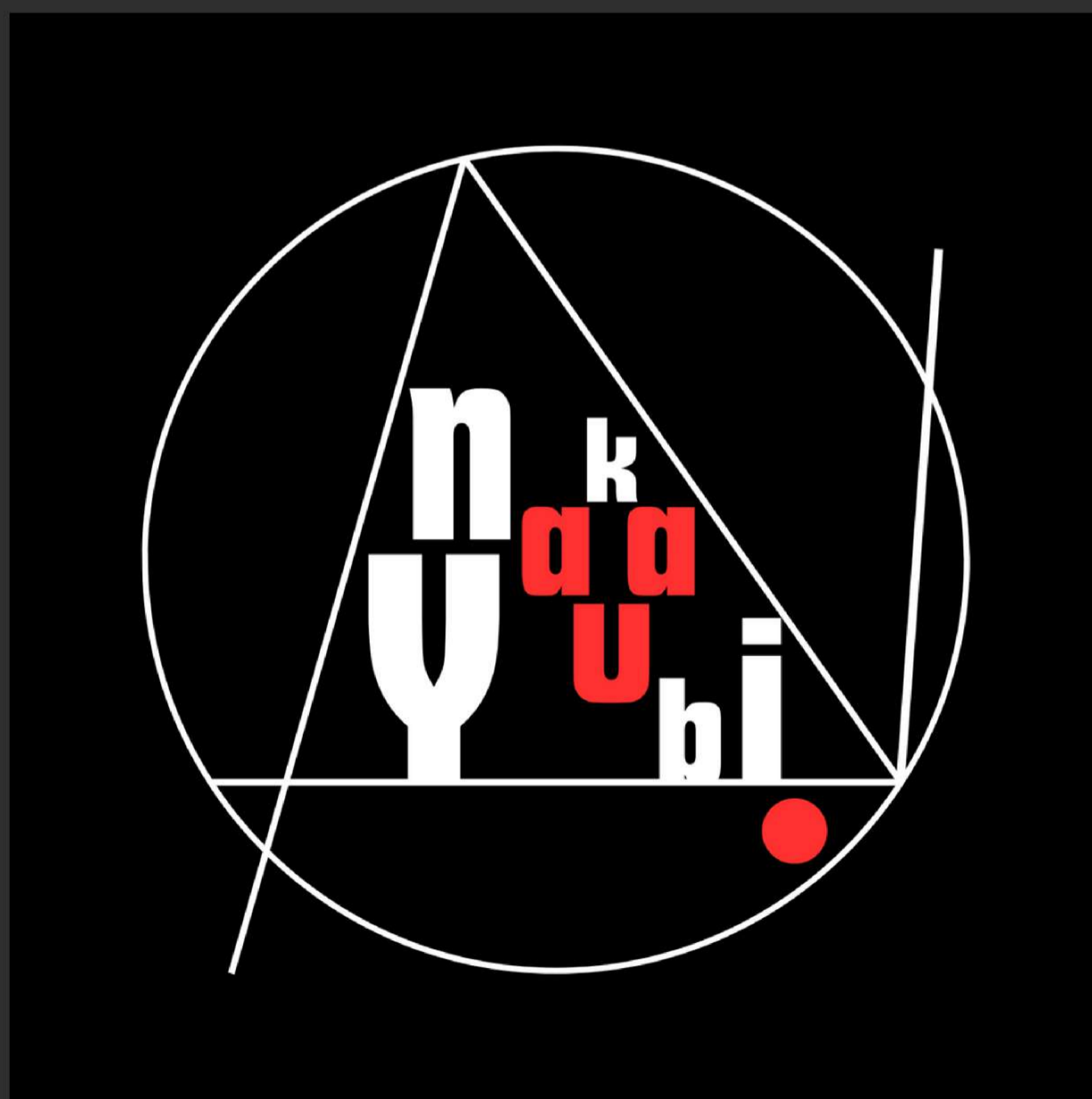
Nakayubi.



MASUGU KANDA

Director / Playwright

PROFILE



神田真直

経歴

- 2024年04月 Nakayubi.(劇作家・演出家・俳優)
2018年03月 同志社大学政策学部政策学科卒業。
2014年08月 劇団なかゆび(主宰・劇作家・演出家・俳優)結成(～2024年03月)。

活動歴

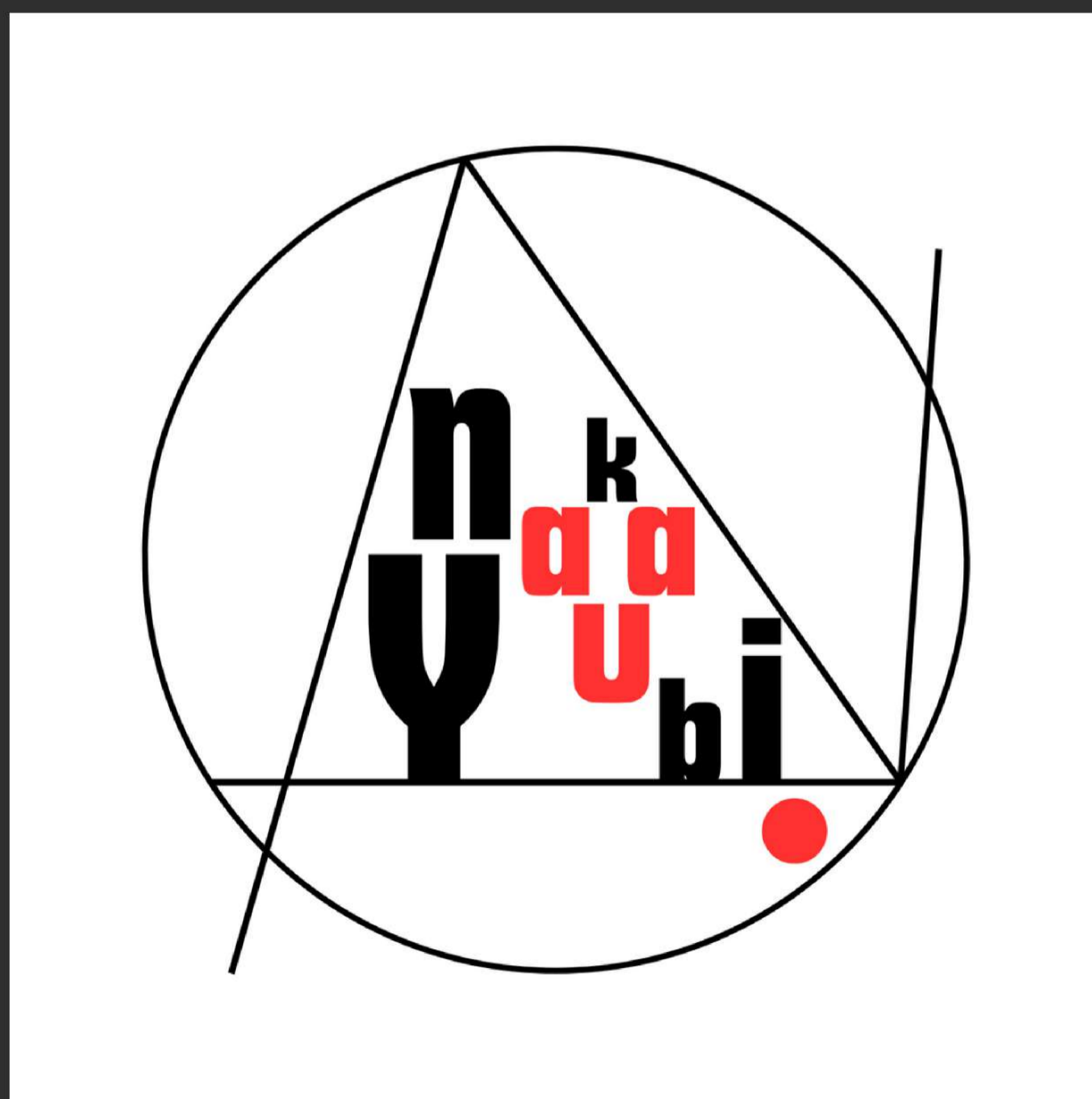
- 2022年10月 第22回AAF戯曲賞 一次審査進出
2020年10月 演劇人コンクール2020 優秀演出家賞(課題戯曲:谷崎潤一郎『お國と五平』)
2019年05月 演劇人コンクール2019 第一次上演審査進出
2017年06月 第二回全国学生演劇祭 審査員賞受賞
2016年08月 京都学生演劇祭2016 審査員特別賞受賞

1993年6月22日、大阪で生まれる。2013年、同志社大学の学生劇団・第三劇場に入団し、2014年に劇団なかゆびを結成。以降、劇作家・演出家・俳優として京都を中心に活動。2024年に劇団を解散し、ソロプロジェクト、Nakayubi.を始動。演出では、伝統芸能とSMプレイを融合させる、外国語の使用時にあえて間違った字幕を表示するなど、作品の主題に合わせて、多彩な手法をとる。京都に限らず、名古屋、東京、兵庫・豊岡、韓国・大邱と様々な地で精力的に活動してきた。さらに、パチンコ店従業員、営業マン、ホテル清掃員、ホテルフロントデスク、アニメ・漫画考察系Youtuberのゴーストライターと職歴も多岐にわたり、これらの経験が劇作に生かされている。



2016年に第6回京都学生演劇祭で審査特別賞、2017年に第2回全国学生演劇祭で審査員賞を受賞、同年には第2回大韓民国演劇祭in大邱に招聘された。2020年には演劇人コンクール2020にて優秀演出家賞を受賞。作品が持つ強烈な社会性やストイックかつシンプルなメソッドを評価されることが多い。

WORKS



断絶の詩人

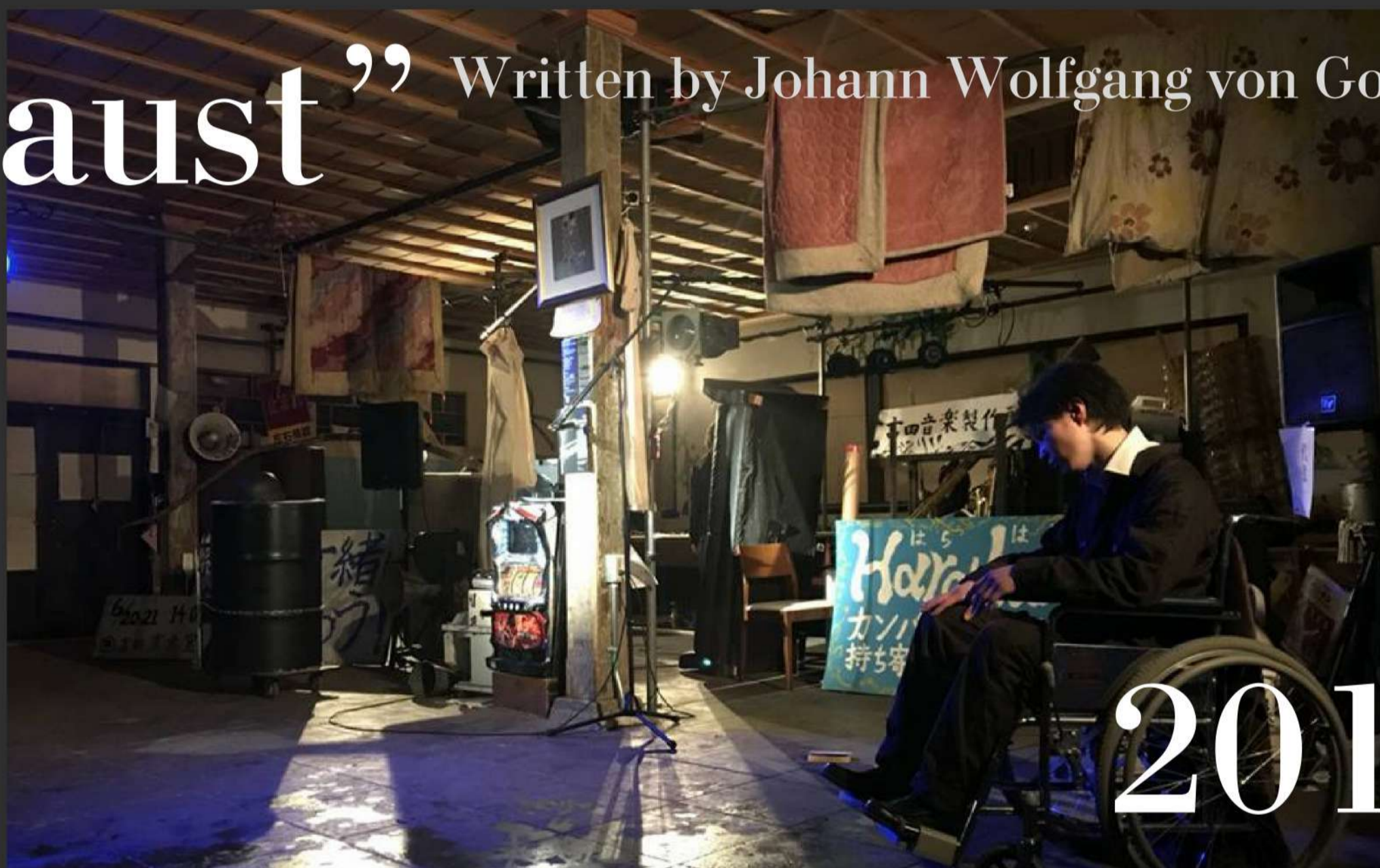
누구야? 울고 있는 건? 바람인가?
..... 아니야, 물이야. 물의 소리아.....
강이야. 강이 흘러가고 있어.....



“the Poet of Discontinuation”

2017

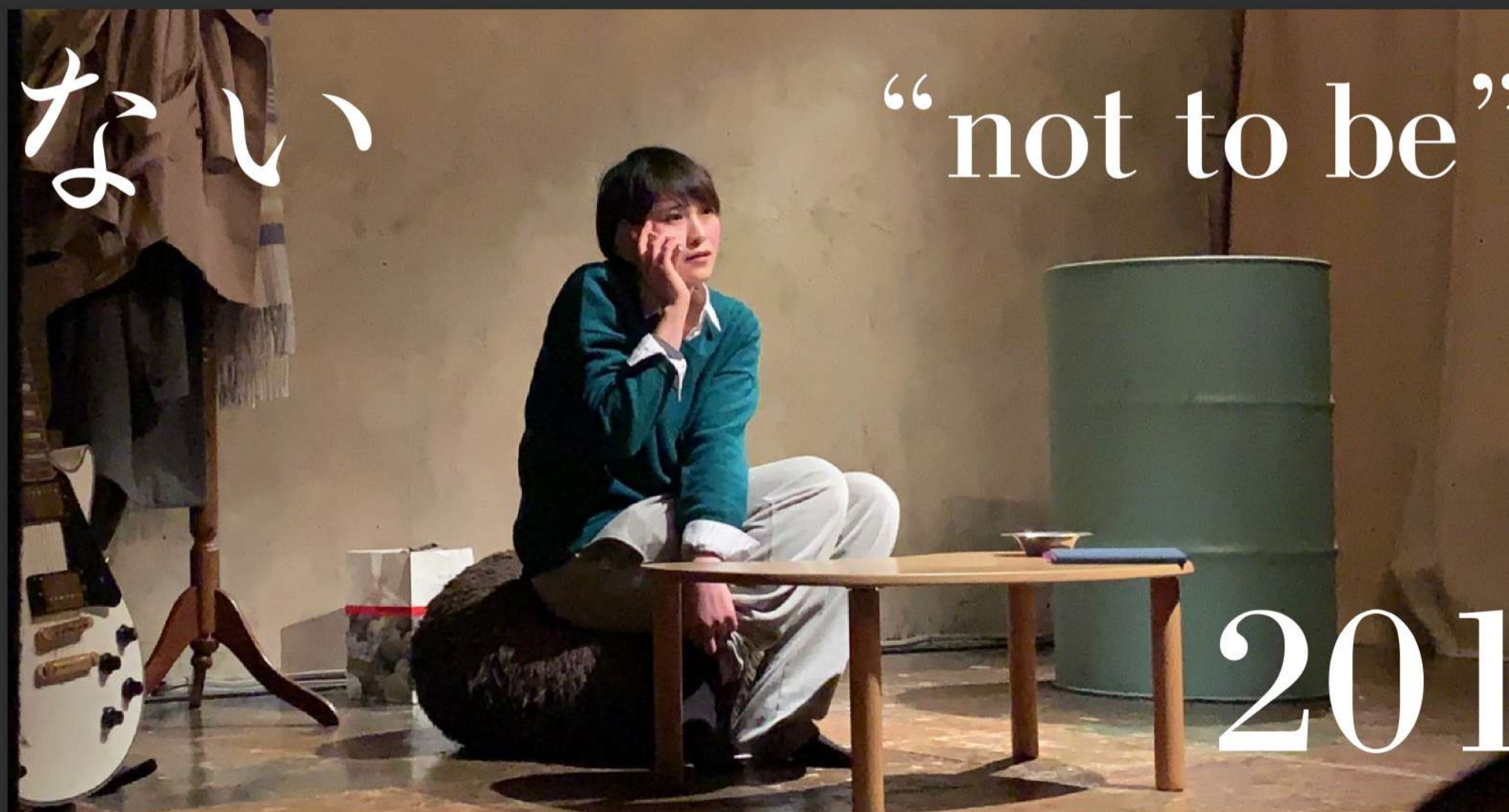
“Faust” Written by Johann Wolfgang von Goethe



2018

いない

“not to be”



2019

45分間

“45min.”



2020

“This is a good actor”

Written by Kunio Kishida

是名優哉



2021

みごとな女

written by Morimoto Kaoru



“A magnificent woman”

2021

“Miyako’s Orchard”

京の園



2021, Kyoto



The Kyoto Shimbun
2022/1/11

Written by Masugu Kanda
2022, Kyoto



Inspired by Chekhov's “The Cherry Orchard”

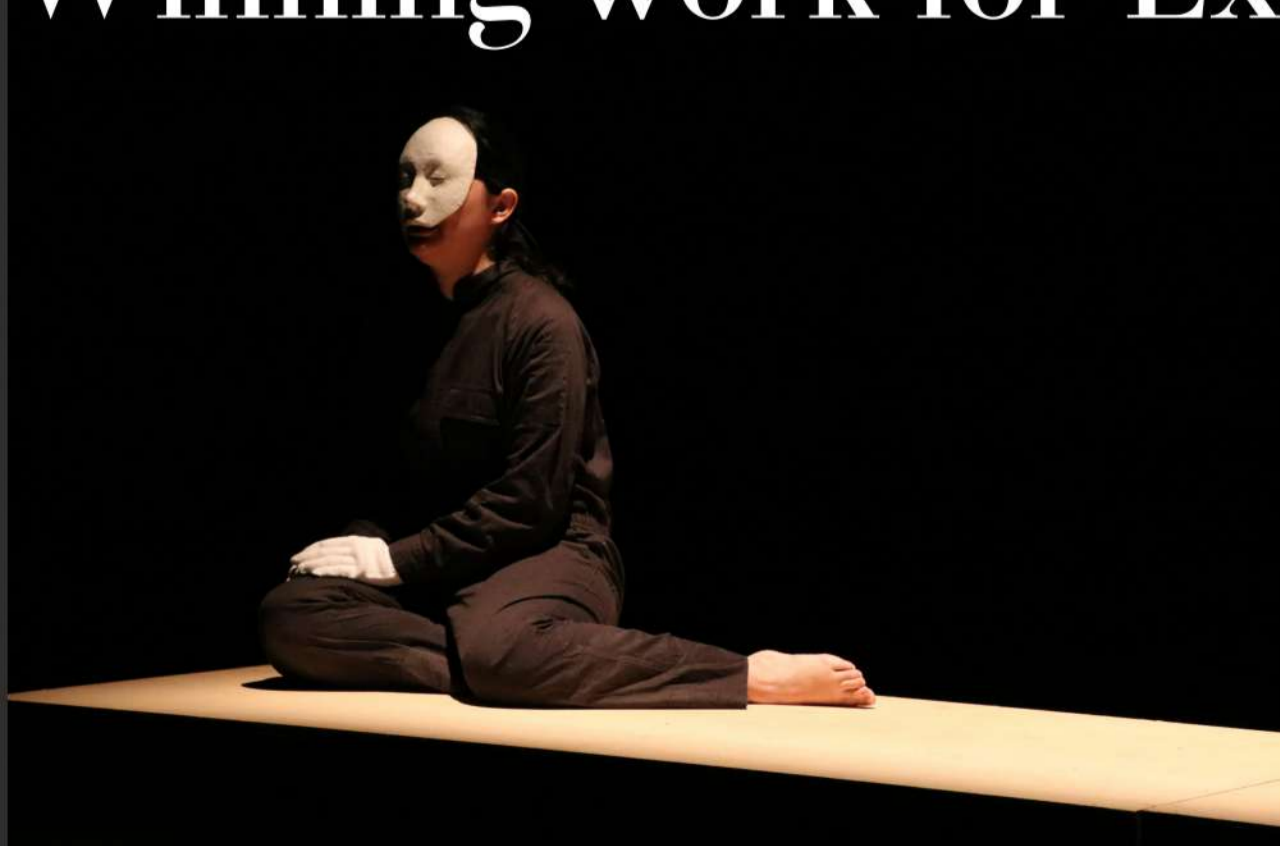
お國と五平



“Okuni and Gohei”
Written by Junichiro Tanizaki



Winning work for Excellent Director Award



2020, Toyooka
2022, Tokyo



2022, Kyoto

わが友ヒットラー



“My friend Hitler” Written by Yukio Mishima

(11) 2022年4月17日(日曜日)(毎週日曜日発行)

京 都 民 報

(1962年3月8日第3種郵便物認可)

第3027号

ファシズム前夜と日本の今 劇団なかゆび公演「わが友ヒットラー」

ファシズムに向かって
いった戦前ドイツの歴史

5月12日〜15日、gallerly Main



に国家や法の上に立つ「独裁者」になる間期をなした「長いナイフの夜」事件をもとに大胆な創作を盛り込んだものです。晩年の三島の主張を投影したこの劇もあり、演出の神田真白は、ファシズムが形

り作品の世界を頭の中で再構成し、冷静に分析できるようにする演出を試みます。

◇
5月12日・13日19時、14日13時・18時、15日13時、gallerly Main。受付開始・開場は開演の20分前。出演：劇団なかゆび、松本樹園、山崎かゆひ、髭だるま、(笑の内閣)増田知就。当日3500円(前売り3000円)。問い合わせ050-533747874(三問)。

に学び、今の日本の政治のあり方を批判的に考えたいと京都を拠点に活動する「劇団なかゆび」は、様々な解釈がある三島由紀夫の戯曲「わが友ヒットラー」に挑戦します。

同作は、ヒットラーと、彼の盟友で創設時からナチ党に関わり、同党の軍事組織・突撃隊(SA)を統率したエルンスト・レームを軸としたもの。1933年に政権の座についたヒットラーが翌年、政治路線の違うレームの右派と左派を非合法的に粛清して党内の地位を揺るぎないものとし、のちに

成されるプロセスを批判的に読み解くという大胆な解釈を試みます。

昨年、菅首相がコロナ対策に触れ、「緊急事態条項」を含む自民党改憲案実現を訴えたことを受け、国民の権利を制限し、首相に権限を集中させようとする手法がナチスと酷似していると危機感を覚え、上演を企画しました。

昨年8月に上演を予定していましたが、コロナ禍で延期。その後、ロシアによるウクライナ侵略も起きたことから、権力者に権限を集中させた末に、侵略戦争を起したロシアの実態も加味して脚本を練っています。

登場人物は男性4人。衣装は軍服とせず、大道具も極力シンプルなものにし、出演者は仮面をつけ演じるなど、抽象化することで観客が想像によ



Kyoto Mimpo, 2022/4/17

文化なき国から



“From a country without culture”

Written by Masugu Kanda
2023, Kyoto



WEBSITE

<https://nakayubi.wordpress.com/>

CONTACT

nakayubigeiki@gmail.com

Youtube

@user-gm1ei4fo7f

X

@nakayubigeiki

写真撮影（敬称略）

『45分間』（2020年）：脇田友

『戦争前夜の作家たち』：小島謙介

『京の園』（2022年）：中谷利明

『わが友ヒットラー』：中谷利明

『お國と五平』（2022年）：佐々木啓太

『文化なき国から』：北川啓太

プロフィール写真：藤本匠

